

# 平成26年度 妙高市音楽部 活動報告

部長 相浦 美子

## 1 研究主題

「味わおう 音楽を 伝え合おう思いを」

～音楽のよさを感じ取り、音楽表現を高め合う学習をめざして～

※平成26年度 上越音楽教育研究会のテーマを受けて設定

## 2 研究の概要

(1) 春の研修……年間活動計画の立案

(2) 夏の研修……妙高市音楽発表会の実施計画立(案)の検討

(3) 秋の研修……第51回音楽教育研究発表大会(兼 第57回関東音楽教育研究会新潟大会プレ発表大会)参加

(4) 妙高市音楽発表会……市内小・中学校、特別支援学校の計14校が一堂に会し、音楽を通じて交流を行う。音楽部会が企画運営に当たる。

## 3 研究の実際

(1) 春の研修会(平成26年4月23日)

次年度開催する関東音楽教育研究会新潟大会への全面的な協力体制を確立するため、当部会のテーマを新潟大会のテーマと同様に設定し、全部員が今年度のプレ大会に参加することを確認した。

(2) 夏の研修会(8月21日)

妙高市音楽発表会の実施内容について検討した。共用楽器の精選とステージ配置図の詳細について確実な共通理解を図った。

(3) 秋の研修会(11月12日)

上越市立国府小学校の第1学年と第3学年の2学級で、上越市立三和中学校の第2学年の1学級で授業が公開された。小学校の音楽づくりの授業は、生活科や総合的な学習での体験と結びつけた実践であった。学級担任ならではの支援と指導が活かされ、児童の目的意識に支えられた創作活動が展開された。中学校の創作授業では、テーマに合わせたリズムアンサンブルを仲間と楽しそうに工夫して創る生徒の姿が見られた。生徒同士の意見交流や発表の中で交わされる「共通事項」につながる重要な発言を、指導者が適切に拾い上げ活かしていくことが、「共通事項」の指導において重要なポイントであることを再認識した。教科調査官の「音楽好きな子どもを育てることが授業研究の目標である」という言葉の意味を実感できた授業研修会となった。

(4) 妙高市音楽発表会(11月14日)

各学校の特色を生かした多彩な音楽活動が披露され、それぞれの発表のよさや美しさを感じ取り、音を通じて市内の児童生徒が深い感動を共有できた貴重な場であった。

## 4 成果と課題

「共通事項」が学習指導要領で取り上げられて以来、あたかもそれが授業の目標と化している実践も散見されてきたが、本年の秋の研修会では、「共通事項」の明解な理解が得られた。今後は、その理解に則って、音楽部員一人一人が確かな実践を積み上げていくことが求められる。